



The Y's MEN's CLUB of

もいおか

<VOL212.2025.8>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-19-22 019-658-8773 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

8月の聖句 マタイによる福音書7章13節



「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。」

「主題」

国際会長	エドワード・オン
アジア太平洋地域会長	田上 正
東日本区理事	山下 真
北東部長	三田 庸平(もりおか)
もりおかクラブ会長	長岡 正彦

「信念、愛、行動」
「信念と愛をもって行動しよう」
「ワイズのらしさ再発見」
「ユースと共に明るい未来を」
「リーダーの志を、全力で支えよう」

会長	長岡 正彦
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	三田 庸平
副会計	大関 靖二
担当主事	中村 渉(ちゃん)
メネット	井上 優子

2025年9月定例会

日時、場所 9月13日(土)、18時より

アイーナ団体活動室2

卓話 千釜 雄大様「障害者スポーツ(野球の取り組み)」

東日本区大会での盛YMCA リーダー会が発表した、
こどもの人権カルタの取り組みのビデオを発表します。

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、今は8月25日です。夏が終わろうとしています。梅雨がほとんど無かった6月から真夏に入り、約2カ月厳しい夏の季節が続きましたが、ここ1週間は、暑いには暑いのですが、日差しが間違いなく傾いています。あぐらをかいていた太陽は片膝を立てて立ち上がろうとしているようです。気が付けば、蝉の声は少なくなり、秋の虫が草むらの中にぎやかに鳴いています。

今月はさんさ踊りの焼きそばの出店の運営から始まりました。リーダー会のこどもの人権カルタ委員会が主催の出店です。4日間の連続出店ご苦労様でした、今年のお祭りの人出は昨年より少なく、販売量も3日め、4日めと振るわず昨年の10万円を越える粗利には及ばず、7万円程でした。今年はワイズのメンバーが応援を兼ねての訪問がありました。及川メンと畠山メンです。特に畠山メンは1年ぶりの再開で、娘さんと一緒に来店していただきました。ありがとうございました。

盛岡 YMCA のサマーキャンプも順調に行われ、特に初めて開催された、首都圏のこどもたちを迎えての雫石キャンプが行われ、リーダーと子供たちが、だんごのように絡まり、盛会のうちに完了したと聞きました。非常に気を使った1週間とききました。企画運営を行った皆様たいへんご苦労様でした。参加した子供たちは岩手の真夏をどのように感じたのでしょうか、ぜひ聞きたいものです。

私は、会員とのコミュニケーションを大切に考えております。結構、毒のある性格ですから、嫌われている面もあると感じています。でも、中身は見た目ほど悪い人間ではないと自分では思っています。今期は始まったばかりですが、どうぞ皆様もりおかクラブの発展にご協力ください。

8月、納涼例会の報告

8月9日、居酒屋じょ居にて開催。参加者、長岡、井上優子、濱塚、高橋、三田、(敬称略)以上5名。ゲスト、千葉拓真(キッシー)以上1名。合計6名で開催。

夏の出口が見え始めたこの日、暑さを吹っ飛ばしましょうと6名が参加して納涼例会の始まりです。各人好きな飲み物そろえてかんぱ〜い。はじまりました。話題は今年の暑さが中心で、暑さのせいでこんなことがあった、あんなことがあった、話題は尽きません。我が家では、きいろスズメバチの巣が2つ作られたことがありました。どちらもまだ出来立ての巣で、働きバチの数が少ない時期に発見。ジェットスプレーの殺虫剤で離れた位置からの駆除に成功。事なきを得ました。「今年は蚊が少ないんじゃない?」、たしかに言われてみると、蚊はほとんどいなかったように思います。調べてみると、このような気候では、水たまりがなくボウフラの生息域が減少、少し水があるところは、夕立の

大量の水で流れ出し、成虫の前でボウフラが流されてしまうとか。理にかなって、納得です。日中は蝉も一休みでしょうか、午前中と夕方には蝉は鳴かなかった。話題の飛び火の中、流しのギターが登場。「ポールふじむら」さん、とってリクエスト曲を演奏をしますが、歌うのはリクエストです。長岡は井上陽水の「かんかん照り」をリクエスト。歌いました。独りよがり気持ちよく歌い終えたとき、思いもよらぬまわりの方々から拍手をもらい、びっくりするやら、嬉しいやら、いや〜良かった。ありがとうふじむらさん。

暑さを吹っ飛ばしました。飲むほどに、酔うほどに、楽しい夜は更けていきました。

こどもの人権カルタ委員会主催 さんさ踊り、富士宮焼きそば販売!

8月1日から4日まで、盛岡YMCA 子供の人権カルタ委員会が主催で、さんさ踊り富士宮焼きそば販売が行われました。場所は内丸教会です。カルタの増刷や活動費を捻出するために、リーダーたちが結集しました。この子達のバイタリティはどこから来るのだろう。畠山メンが例会での卓話で戦後の人権のお話を聞いてから3年、初代委員長は卒業して社会人になり、現在の委員長「アトム」は3代目です。意義や志を受け継いで、こどもの人権カルタ普及は衰えることを知りません。「オッケー、応援するよ。」4日分の食材を準備して、1日分を小分けにして提供。過去に経験があるとは言え、冷凍庫の手配が大変です。イカは冷凍が解けないように毎日その日の午後に必要な分だけお店で受け取り、届けました。



出店の準備が終わり、1回目の焼き方です。15食の焼きそばが完成。まずは、集まったリーダー達に試食してもらいます。腹ごしらえもありますが、自分たちの提供する富士宮焼きそばがどんなものか、美味しいのかどうか、理解してもらうためです。美味しくなければ、販売に力が入るわけがありません。「どう?

美味しい」「最高にうまいです」。よかった。「さあ、張り切って行こう」かくして初日の販売開始です。まだ日が残る5時、元気なセールストークが教会前の道路に響きわたります。日が落ちて、さんさ踊りも熱が入って来ました。焼きそばを買って、踊り見物に向かうパターンで、どんどん売れます。少し、中休みの時間を過ごして、見物帰りの方々が今晚の夕食にお持ち帰りのパターンで8時には1日目の予定数量を売り切りました。

2日目も絶好調、なんと7時半に予定数量完売。しかし、さんさ出店の難しさです。3日目は売れない。人出も少ない、8時半まで在庫が残り、ディスカウント販売に入りました。なんとか売り切り、4日目は最も大苦戦。最後の1食を販売したのが輪踊りも終わった9時でした。一同拍手でお客さんをお送りしました。

私を含め、リーダー達の熱中症対策には気を使いました。冷たい飲み物は欠かせません。この暑さです、氷はすぐに解けます。でも4時間の活動中、冷たい飲み物は提供しました。経費はかかりましたが、健康第一です。かくして、4日間の純利は7万2千円。頑張りました、よくできました。生きたお金を作るのはいかに大変かという事を学んだ4日間でした。

戦争を知らない子供たち

盛岡 YMCA 濱塚総主事通信103号より

戦争が終わって 僕等は生まれた♪、戦争を知らずに 僕等は育った♪ 小学生の頃よく耳にした曲だ。「ジローズ」という男性デュオが歌っていた。戦争が終わって16年目に生まれた僕の周りには、戦争を経験した大人がたくさんいた。両親から、親戚から多くの話を聞かされたものだ。

戦後80年が経過した。今や日本人の多くが戦争を直接経験していない。それは、日本が平和であったという証拠で感謝すべ

きことだと思う。しかし、戦争の経験を語る人が後10年もすれば日本からほとんどいなくなってしまうということも事実である。

戦争の悲惨さ、恐ろしさを肌で感じていない僕たちは今、ウクライナで、ガザで起こっていることに対して、どこか他人事のように思っていないだろうか。

8月6日は広島に、9日は長崎に原爆が投下された。日本は原爆の恐ろしさを経験した世界でただ一つの国である。一方で長い年月が経過した今、「核抑止」「核による平和」という言葉を目にする機会も増えてきている。日本でも核共有を議論すべきだと主張する人も出て来ている。

戦争を知らない世代の僕たちは、自分の感性を研ぎ澄まして戦争で被害を受けた人々の悲しみや苦しみを理解しなければならぬ。また、今一度現代史を学び直すことによって平和を求める理性を自分の中で育てていかねばならない。僕たちが集うYMCAは、公正で平和な世界の実現のために存在しているのだ。

峠三吉 詩集「にんげんをかえせ」より

ちちをかえせ ははをかえせ としよりをかえせ
こどもをかえせ わたしをかえせ わたしにつながる
にんげんをかえせ
にんげんの にんげんのよのあるかぎり
くずれぬへいわを へいわをかえせ

毎年この時期、広島 YMCA は国際青少年平和セミナーを開催しています。来年は盛岡からもユースを派遣したいと考えています。

8月は反戦の月になります。戦争を知らないこども達も80歳になります。もう子供じゃありません、老人です。「死んだ男の残したものは、1人の妻と1人の子供、他には何も残せなかった墓石ひとつ残せなかった。」こんな悲しい歌はもうたくさんです。金正恩は、ウクライナに派兵して戦士した兵士の弔いで涙を流していました。気持ちは本当でしょう、でも、「もう戦地に兵を送るな。」と伝えたい 長岡追記

「フイテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

8月の出席率	4 名	52%	ゲスト1名	メネット	1 名		
メーキャップ	0 名			8 月切手	0 g	累計	200 g
8月のにこにこ	0 円	累計	0 円	富士宮焼きそば	13,000 円	累計	0 円
8月 石鹸	0 円	累計	0 円	りんご	0 円	累計	0 円
8月 献金	0 円			ファンド合計	円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

8月のハッピーバースディ 8/29 井上メン 誕生日おめでとうございます。

盛岡YMCA、雫石キャンプ感動と共感

オーガニック雫石・ワイズメンズクラブ 加藤淳
盛岡YMCA初めての試みです。首都圏の子供達を集めて雫石で岩手の大自然の中で、サマーキャンプを行いました。

押し入れに布団を敷いてそこで寝るのが好きだった。低い天井を間近にみて閉ざされた空間に身を置いてまどろむ。しかし、それはすぐに見つかり、怒られてしぶしぶ部屋の布団に潜り込むのだ。これはもう半世紀前。小学校の低学年のことである。

今回は長年やりたかったことを多く取り入れた。車中泊もその一つ。低い天井、閉ざされた空間。

まるで押し入れの中。まどろむ。ああ、あの時と同じだ。6泊7日長丁場のサマーキャンプ、いろいろなことをした。スウェーデントーチ、ロケットストーブ、ダッチオーブン。裏手の溪流での洗濯。洗ったものを拭いて干す。よく晴れた青空の下、風にたなびく。

一日一日のプログラムはそれぞれ独立したもの。BBQに始まり、矢櫃の川遊び、田沢湖、会員オーガニック畑訪問、その合間

に南部曲り家見学、元マタギの方の山の話、白炭窯の見学、そして、畑で収穫をして、それを調理する。オーガニック雫石の会員がメニューを考案、作り方を教わりながら自分たちで食を作る。お腹も空いて、でも食べるものは自分で作らないとお腹を満たせない。一生懸命に作るその姿。さぞや美味しかったことだろう。リーダー5名も大奮闘。参加児童5名との1対1の厚いケア。す

ぐに仲良くなる子供たち。初日の緊張が3日目辺りから解けて、本性がでてくる。それをうまくこなしていくリーダー達。日一日と目に見えて関係性が濃密になっていく。

「雫石」のありふれた、しかし豊かな自然の体験。星空の綺麗なこと。星がありすぎてどれが北極星かわからない。天の川がはっきりと空に流れる。雷、ほぼ頭上の稲光、雷鳴。漆黒の闇。そして最終日にはまたBBQ。遊び疲れて帰ると今度は夕食を自分たちで準備。どうせなら美味しいものを食べさせたい。食育も兼ねて、オーガニック野菜を主体に用意。突然白くなるフラッシュ、雨、警報も出た大雨の翌日、堤防をえぐり、道路が濁流に呑み込まれた姿を見て子供たちは何を思ったか。いろいろな巡りあわせで様々な



初日の夕食

この後土砂降りの大雨

体験をした子供たち。長期間という懸念は吹っ飛び、早や最終日。また来たいという子供たち。もっと居たいという子供たち。大過なく過ごした一週間、体験を惜しみながらそれぞれの日常に戻っていった。この体験は彼らにどのような糧になっていく



われら、キャンプ隊。オリジナル「風」のTシャツをそろえて



これは楽しそう、川の浅瀬で、都会にはないよね。

ADHD 笑い話6

自分の判断が信用できない

ADHD の直接的な特徴ではないですが、それを原因としてめっちゃくちゃ心配性になったりします。例えば、今いる駅から〇〇駅に行きたいとしましょう。事前に調べた結果、『〇〇駅に行くには、××時発の△番乗り場の電車に乗ればよい』ということが分かりました。が、既に知っていることを、駅員にわざわざ聞きに行きます。どう考えても二度手間です。

これは、今までの人生で小ミスや勘違いをしまくった結果『自分の判断を信じられない』状態になっているからです。自分で100%正確な情報を得たとしても、他人に「それで合ってるよ」と、OKを貰わないと不安で不安で仕方がない。そういう感じです。

外出の際部屋を何度も確認したくなる(一切しない時もある)

外出の際に何度も部屋を確認してしまうというのは、あるあるです。

「ストーブ消したっけ？……消えてるな」、「窓閉めてるっけ？……閉めてるな」、「ストーブ……おっけおっけ、消えてる」、「パソコンも切ってるし、冷蔵庫も閉まってる」、「ストーブは……やっぱり消えてるね、おっけ」と、同じところを何度も確認したりするのは、ADHDじゃなくてもあるあるかもしれません。ただ不可解なことに、普段は徹底的に確認してから家を出る割に、1ミリも確認を行わず、さっさと家を出るときがたまにあります。『確認する

編集後記

加藤さん、締め切りは守ってね。まる2日遅れですよ。でも、とっても素敵な文章をいただきました。皆さんどうですか、その場にいるような感覚になりましたか。私は、キャンプに参加しているような感覚になりました。

日本の護衛艦をフィリピンに輸出する話が現実味を帯びてい

のだろう。原体験として育ってくれば嬉しいことである。

半世紀経った後、川で洗濯をしてドンブラコと流れた来た桃を拾ってくるおじいさん、おばあさんになっているのだろうか。



田沢湖で遊んだ後の、撤収。満足感いっぱい。ドラマの1シーンみたいだ

かくして、1週間のキャンプは終わりました。後日、参加した子供の親御さんから、キャンプから帰った我が子がこんなに楽しかったと、嬉しいメールが届きました。盛岡 YMCA リーダー一面目躍如でしたね。

のを忘れた』というわけではなく、そもそも『普段確認している習慣がある』、ことを忘れた感じで、不安感など一切感じずに家を出られる日があったりするのです。不思議。ただ、外出先でふと「今日確認してない！」ということに気づいてしまうと「今、自分の家燃えてないか??？」と、とんでもなく不安になります。

『共感覚』とかいうものが、分かりそうな気もする

「字」や「音」に色合いを感じたり、「味」に形を感じたりする、天才が持っていそうな能力っぽいやつです。（「音が観える」とか、かっこよくないですか？）で、ADHDの人間というのは、大体連想ゲームが得意です。というか、薬の効き目が切れている間は自動で脳がそういう方向性に回転しています。そのため、実際に「この文字は〇色だ」とか「音が観えるぞ……！」ということがなくても、似たような感じで、「物を見た時、別の物が瞬時に連想される」という具合の、疑似共感覚みたいなものがあったりします。

♪=2(これは形が似ている。でも”5”だと違う)

♪=五(これもちょっと似ている)

♪=8(これは、理由は特にない。感じたのが8だった)

という感じに置き換えができます。実際の音についても、同じような感じで「この音楽、音がやわらかいから6かなあ、バイオリンに11の要素もあるっちゃあるけど」みたいな意味不明な思考をよくします。

るようです。護衛艦などという言葉でごまかしても、それは駆逐艦、れっきとした兵器です。デストロイヤーです。人を殺す武器です。武器は、絶対他国に譲ってはいけません。日本の自衛隊の外に出してはいけけないものです。フィリピンと中国は一色触発の状態、日本産のデストロイヤーが中国の艦船を攻撃したらと思うと背筋が凍ります。やめてくれ、石破さん。